

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	旅行代理店（営業担当）	・予約状況をみる限り、2か月先までは販売が拡大する。
	◎	美容室（経営者）	・11月は厳しいが、12月は来店者が増えると思う。
(四国)	○	商店街（代表者）	・地元の消費者も全国旅行支援を利用されることや、秋物の出足もまずまずであることから、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えなければ景気は上向き基調になると思う。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・祝い事や集まり事の予約並びに問合せが増えてきており、新型コロナウイルス感染症への警戒感が以前より和らいできていると感じる。
	○	スーパー（人事）	・年末にかけて需要が増えると思う。
	○	コンビニ（店長）	・来客数が微増すると思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・これから相当寒くなると予想されており、天候次第ではあるものの、年末にかけて売上は良くなると期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末にかけて、クリスマス需要やボジョレーヌーヴォーの販売等で少し売上が増え、景気は良くなると思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	・例年どおりであれば、12～1月にかけて景気は良くなるはずだと期待している。
	○	タクシー運転手	・1年で一番の繁忙期である12月は、やや良くなると思う。新型コロナウイルスのワクチン接種者が増加すれば、更に人の動きは活発化すると思う。
	○	通信会社（支店長）	・物価高に伴う消費の落ち込みに改善傾向はみられないが、全国旅行支援によって景気が上向くことを期待している。
	○	通信会社（営業担当）	・来客数が回復傾向にあり、店舗や出張販売先への来店も増加している。
	□	商店街（事務局長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加に転じ、高齢者層の人流が減ってきている。これから年末年始にかけて大事な時期なので、新型コロナウイルスの新規感染者数が目に見えて減少するのを祈るしかない。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に対する規制は解除されつつあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にはなっていないため、まだ先が読めない。新型コロナウイルスオミクロン株対応のワクチン接種が進めば好転すると見込まれるが、今のところ来年春頃まではこの状況が続くと予想する。
	□	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いた状態で年末年始を迎えられると、消費意欲が増すと考えられる。
	□	スーパー（店長）	・環境が好転したわけではなく、生活防衛感が強くなったり弱くなったりしているだけだと思う。
	□	スーパー（企画担当）	・11月以降も値上げが予想され、単価上昇が続く。年末に向けての前倒し購入もみえてくると推定する。
	□	コンビニ（店長）	・にわかに新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している背景もあって、予断を許さない状況であるが、全国旅行支援もあり、しばらく現状のまま推移するのではないかと感じている。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、このまま推移していくと思う。
	□	コンビニ（商品担当）	・ウクライナ情勢と円安が好転しない限り、景気回復は難しい。
	□	衣料品専門店（経営者）	・3か月前までは景気は良くなると思っていたが、新型コロナウイルス感染症の長期化や円安の影響もあり、景気が良くなるのは厳しいと思う。
□	衣料品専門店（営業責任者）	・全国旅行支援の効果もあって人出はあるが、売上にはつながっていない。今後の人の移動の活性化に期待する。	
□	家電量販店（店員）	・今後も価格上昇が予定されており、ついで買いは減ると思われる。	
□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス感染症に対する行動規制が緩和されつつあるが、冬に向けて光熱費の高騰や物価高の影響が続き、節約意識が高まることから、まだまだ景気回復は期待できない。	
□	乗用車販売業（営業担当）	・半導体不足が解消される見込みがなく、厳しい状況が続く。	

	乗用車販売店（従業員）	□	・自動車の供給不足が解消されない限り変わらない。加えて、円安による物価上昇の影響から、客の購買意欲も停滞すると思う。
	乗用車販売店（従業員）	□	・生産台数より受注台数が上回っている状況は、今しばらく続くと思う。
	乗用車販売店（役員）	□	・前年よりは登録車の台数は増えると予想するが、前々年を基準に考えれば、状況は好転していない。
	通信会社（営業部長）	□	・物価上昇が懸念されるものの、今のところ販売への影響はなく、現状が続くと思う。
	通信会社（社員）	□	・円安、新型コロナウイルス感染症、物価高のいずれかが改善しなければ状況は変わらないと思う。
	観光遊園地（職員）	□	・新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなるが、円安や原油高の影響で景気回復には至らない。
	美容室（経営者）	□	・少し良くなったり悪くなったりを繰り返しているように思う。
	設計事務所（所長）	□	・建設業では円安が進行することで資材が更に高騰し、景気が悪化することを危惧している。
	商店街（代表者）	▲	・円安やロシアによるウクライナ侵攻の影響で輸入コストが上昇し、更に材料費や燃料費等の値上げも重なり、経営への負担が増えている。年末年始にかけて客の動きが多少なりとも活発になると思うが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行次第で動きが鈍る可能性を危惧している。
	スーパー（店長）	▲	・相次ぐ値上げの影響で消費者の節約志向が強まり、クリスマスや年末年始商戦での高額品やぜいたく品の販売量が前年より減少すると予想する。
	スーパー（財務担当）	▲	・1品単価が更に上昇することで買上点数が減少する。
	その他小売 [ショッピングセンター]（総務部担当部長）	▲	・食品等の値上げが今後も予定されており、消費の縮小は不可避と考えている。
	観光型旅館（経営者）	▲	・全国旅行支援の効果一巡後は人手不足や原材料高の悪影響が顕在化し、景気の足を引っ張る。インバウンド需要が地方へ波及し定着するまでは、景気は安定しない。
	都市型ホテル（経営者）	▲	・全国旅行支援終了後の客の動きが一挙に悪くなる可能性が高い。
	競輪競馬（マネージャー）	▲	・売上は横ばいで、来客数はやや減少傾向にある。今後更に物価高の影響がじわじわ浸透していくと予想する。
	一般小売店 [酒]（販売担当）	×	・光熱費や物価上昇の影響で、消費者の購買意欲は上がらない。
	衣料品専門店（経営者）	×	・物価高と円安が家計を圧迫し、買い控えが進む。
	タクシー運転手	×	・寒い冬には遍路の仕事がほぼ無くなる。全国旅行支援が終わると今より更に人の動きが悪くなると予想する。新型コロナウイルス感染症の終息時期も不透明であり、今より良くなることはない。
企業 動向 関連 (四国)		◎	*
		○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理） ・円安の影響で国産の需要が高まり、キッチンペーパーの大口取引が始まる。ただし、除菌や掃除用のウェットクリーナーの売上は横ばいである。
		○	鉄鋼業（総務部長） ・新型コロナウイルス感染症の第8波次第だが、このままの状況が続けば、受注、生産共に上向くと予想している。
		○	電気機械器具製造業（経営者） ・バイオマスの肥料や土壌改良剤の分野で着実に成果を上げており、今後売上は回復すると予想する。
		○	輸送業（営業） ・円安と物価上昇の同時進行は景気回復を阻害する要因となるが、新型コロナウイルスの感染状況が収束することで徐々に上向くことを期待している。
		○	通信業（総務担当） ・社外イベントやボランティア活動の参加者数の増加傾向が続けば、人の移動が増える。景気も少しずつ改善に向かう。
		○	金融業（副支店長） ・水際対策の緩和によるインバウンド需要の回復や全国旅行支援に伴う国内観光旅行者数の増加等により、宿泊業の宿泊者数や飲食業の来客数も増加傾向にある。また、仕入価格の値上がりを価格転嫁しやすい環境下にある。年末にかけて景気は回復していく。
		□	電気機械器具製造業（経理） ・国や自治体が経済対策や新型コロナウイルス感染症対策の緩和を進めつつあるが、ウクライナ情勢の影響、円安による物価高は続いている。

	□	建設業（経営者）	・補正予算に拠るところが大きいものの、業況並びに景況は上向く可能性が高い。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況に大きく左右されると思う。
	□	建設業（経営者）	・最近公共工事の発注が少なく、先行きが不透明である。
	□	輸送業（経理）	・国内向け、海外向けの出荷予定数量に大きな増減がみられない。
	□	通信業（企画・売上管理）	・希望的観測の意味合いも込め、現状維持を求めたい。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響は低減し、一部のイベント等は復活予定である。しかし、エネルギー等原材料価格高騰の影響で客先から例年受注していた販促広告関連が削減され、総合的には余り変わらないと予想する。
	▲	農林水産業（職員）	・例年、年末需要で活況を呈する時期であるが、消費者の財布のひもは緩む心配がない。青果物は物価上昇の蚊帳の外にあり、量販店の利益商材としての扱いも変わっていない。厳しい年末になりそうである。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・大手住宅メーカーの受注速報がダウンし始めている。物価上昇や、全国旅行支援の開始により、住宅購入よりも旅行という雰囲気が高まっていることが影響していると思われる。今後の受注回復に期待したい。
	▲	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束する見通しは不透明である。ウクライナ情勢の長期化に加え、円安に歯止めが掛からないと思う。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・足元では世界的な金融引締めによる景気後退や新型コロナウイルスの感染急拡大の懸念もあって、先行き不透明感が強まっている。
	▲	輸送業（経営者）	・我が国の地位などが下がっている報道が多く、景気が上向くとは思えない。
	×	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症で消費動向が大きく変化し、大規模店舗を構えた小売店は総じて厳しく、若者向けのインターネット販売等の無店舗販売が拡大している。国内景気については現在の為替相場が続くと、我々生産メーカーも原材料価格が高騰しているため卸価格を高くせざるを得ず、ますます消費が落ち込む。
	×	税理士事務所	・物価高が続くため購買意欲は戻らない。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業）	・円安によるインバウンドへの期待感や全国旅行支援による国内観光の活性化等により、年末にかけて人流が激しくなる。観光業や宿泊業、交通、公共施設等において、新型コロナウイルス感染症対策によって規制されていた環境が改善されれば景気は回復すると思う。
	○	学校 [大学]（就職担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄まってきており、苦境にある観光産業にも少しずつ明るい兆しがみえてきている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・製造業での大きな求人数は少ないが、一定数の求人数があり、安定している。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・円相場の影響で不安定な状況が予想される。
	▲	求人情報誌（営業）	・輸送のコスト高騰や円安など、景気が回復する要素がなく、周辺の中小企業からは人材流出も頻出しており、景気は悪化傾向にある。
	▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・冬休みのアルバイト募集の時期も終わり、募集の減少が予想される。
	▲	新聞社 [求人広告]（担当者）	・仕入価格の高騰分を全額転嫁できないため、利益を少し減小させている。
	▲	職業安定所（求人開発）	・宿泊業、飲食サービス業は政府の景気でこ入れ策で上向くと思われるが、製造業の体力は、半導体不足や資材の調達遅延による納品遅れで利益が削られるため低下する。輸出できる企業は売上増加が見込まれるが、輸入に関してはダメージが大きい。
	×	—	—